

December 11, 2006

Intercollegiate Negotiation Competition Newsletter

Vol.5, No.6 (2006)

インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション運営委員会  
The Steering Committee, Intercollegiate Negotiation Competition

第5回インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティションに参加していただき、有難うございました。

運営には色々と不手際がありましたが、皆さんが熱心に参加してくださったことで、成功裏に終わることができたのではないかと思います。色々のご協力を頂き、有難うございました。

各大学での準備の日々、2日間の本番、懇親会や昼食会等での色々な出会いなどから、皆さんが何か貴重なものを得てくださったとしたら幸いです。

### 1. 審査結果について

審査結果のポイントは次の通りです。本コンペティションでは採点結果の詳細は公表していません。各ラウンドの終了後のフィードバックのための時間や、懇親会、ティー・タイム、閉会式等、審査員自身の言葉で審査員からのフィードバックを皆さんに提供する機会を大切にして頂きたいと考えています。また、指導教員等からのフィードバックも充実させていきたいと思っています。

- ① コンペティションの審査は、各審査員が50点満点で各ラウンドを審査します。各審査員には、各審査項目について、「通常期待するレベル」の場合には3点として審査をするよう依頼しています。各チームはラウンドA、ラウンドBを通じて6名の審査員から審査を受けることとなります。各大学の点数は参加チームの得点を平均して求めています。
- ② ラウンドAの全チームの平均点は95.6点、ラウンドBの全チームの平均点は91.45点、ラウンドA・Bの合計点の全チームの平均点187.049点でした。交渉の評点のほうはやや厳しくなっていることが分かります。
- ③ 昨年のラウンドAの平均点は107.10点、ラウンドBの平均点は109.44点でした。昨年の評点と比べると相当厳しくなっています。これは、今年の参加者のパフォーマンスが例年に比べて劣っていたということではなく、審査員の事前の打合せにおいて、通常の学生ではなく、熱心に準備して本コンペティションに参加している学生に対して通常期待するレベルを3とするように重ねて依頼したことなどが理由と思われる。また、今年からは、審査票提出前に審査員間での打ち合わせを行うようにしました。この結果、ある審査員が他の審査員に比べて突出して高い点数を与えるといったことが減ったことも一因と思われる。
- ④ 大学によって、ラウンドAで高得点を稼いだ大学、ラウンドBで高得点を稼いだ大学、ラウンドA・Bともに平均的に稼いだ大学といった違いがあります。しかし、いずれか一方のみが良くても入賞は難しくなっています。
- ⑤ 点数は接近しています。たとえば、5位と6位の差は1点ありませんでした。どの大学にも入賞のチャンスがあります。

審査員による審査結果は確かに重要ですが、一つの評価に過ぎません。

皆さんは、自分がうまく出来た部分と出来なかった部分、チームがうまく機能した部分と機能しなかった部分、相手がうまくいった部分と下手だった部分などを、実感されたことと思います。審査員からのフィードバックを参考に、皆さんのチームメートなどとの率直な意見交換を通じ、コンペティションでの経験を今後に役立てていただければと思います。

運営委員会としては、審査システムをより良いものにするよう努力していきたいと考えています。同時に、学生のみなさんには、点数化された審査結果に過度に拘るのではなく、準備の過程から本番にいたるまでの期間に皆さんが実感されたことや、生の言葉で伝えられた審査員や教員からのメッセージを大事にして欲しいと考えています。

### 3. アンケート結果

アンケートにご協力頂き有難うございました。頂いたご意見は今後のコンペティションの改善に役立てて参りたいと思います。

アンケート結果は現在集計中で、集計作業が終わった時点でホームページを通じて集計結果の概要をお伝えしたいと考えていますが、「本コンペティションに参加してよかったと思いますか？」という問いに対しては、次のような回答を頂戴しました。

1. とてもよかった	123名
2. よかった	57名
3. まあまあ	3名
4. あまりよくなかった	0名
5. 参加しないほうがよかった	0名

多くの皆さんに参加してよかったとご満足いただけた大会となったのは、皆さんが熱心に取り組んでくださった結果であると思います。本コンペティションをより良いものにできるよう運営委員会も努力して参りますので、今後とも宜しく申し上げます。

### 4. 忘れ物

黒の帽子の忘れ物をお預かりしています。お心当たりの方は運営委員会にご連絡ください。

### 5. DVD

今年も例年同様、本大会のスポンサーである住友グループ広報委員会様のご厚意で、参加者の皆様には本大会の様子を記録したDVDが贈られます。お届けできるのは2月から3月ごろになると思います。各大学の指導教員の先生にお送りしますので、今大会の記念として大切にしてください。

以 上